

「防災情報の活用で災害リスク低減を!!」 利用の手引き



横浜地方気象台では、屋外活動時や災害対応時において、災害リスクを低減することに役立つ資料（防災情報の活用で災害リスク低減を!!）を作成しました。

スマホやパソコン等で自然災害の危険が迫る状況や現在の状況を自ら把握して、予防行動や早めの避難判断、被害の低減にお役立てください。利活用の具体例は、下記の通りとなります。

記

【屋外活動時】

- ・活動場所（県・市町村）に発表された防災情報（気象・地震・津波・火山等）の把握
- ・活動場所の雨雲や雷の状況把握による大雨対策や雷災対策
- ・活動場所の土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度の把握
- ・活動場所の波浪状況の把握
- ・熱中症対策としての屋内外での運動や行動の実施可否判断
- ・紫外線対策や黄砂対策

【災害対応時】

- ・居住地等（県・市町村）に発表された防災情報（気象・地震・津波・火山等）の把握
- ・大雨・雷・突風などの状況と予測を確認して、行動等を早める・延ばすなどの判断
- ・災害が差し迫った、または発生した状況での迫る危険の確認と対応への活用
- ・避難発令情報や避難所の開設情報などの把握

本資料では、「屋外活動で有効な情報」と「災害対応に役立つ情報」、の2つの場面に分けて防災情報の入手先を記載しており、スマホ用の二次元バーコード、もしくはパソコン用の検索ワードからこれらの防災情報を入手できます。

なお、本資料は、横浜地方気象台の地域防災のページ（<https://www.data.jma.go.jp/yokohama/shosai/01-bosai/04-chiikibosai/>（本資料右上の二次元バーコード））から PDF 形式の資料を入手し、印刷してご利用ください。パウチ加工するとより便利です。

